

【各社の概要】

1. JR 西日本

- (1) 商号 西日本旅客鉄道株式会社
- (2) 所在地 大阪府大阪市北区芝田 2-4-24
- (3) 代表者 代表取締役社長 真鍋 精志
- (4) 資本金 1,000 億円
- (5) 設立年月 昭和 62 年 4 月
- (6) 主な事業内容 運輸業、流通業、不動産業、その他

2. ファームアライアンス

- (1) 商号 株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント
- (2) 所在地 東京都千代田区九段南三丁目 4 番 5 号
- (3) 代表者 代表取締役社長 松本 武
- (4) 資本金 94 百万円
- (5) 設立年月 平成 24 年 3 月
- (6) 主な事業内容 ・農産物の国際認証規格グローバル GAP の認証取得のためのシステムサービス供与、環境整備及び教育、農産物の卸売等

3. みなと銀行

- (1) 商号 株式会社みなと銀行
- (2) 所在地 兵庫県神戸市中央区三宮町二丁目 1 番 1 号
- (3) 代表者 取締役頭取 尾野 俊二
- (4) 資本金 274 億円
- (5) 設立年月 昭和 24 年 9 月
- (6) 主な事業内容 銀行業務

4. みなとキャピタル

- (1) 商号 みなとキャピタル株式会社
- (2) 所在地 兵庫県神戸市兵庫区水木通一丁目 4 番 7 号
- (3) 代表者 代表取締役 庵原 敬吾
- (4) 資本金 2.5 億円
- (5) 設立年月 平成 12 年 6 月
- (6) 主な事業内容 ・投資業務
・経営相談
・コンサルティング業務

【グローバル GAP とは】

グローバル GAP は、欧州を中心に世界 100 カ国以上で実践されている GAP (Good Agricultural Practice : 適正農業規範) の世界標準です。グローバル GAP では、農業生産・取り扱いにおける農産物の安全管理手法や労働安全、持続可能な農業に資する環境保全型農業実践のためのチェック項目が具体的に定められています。農産物の世界的な流通においては、もはやグローバル GAP の認定取得が取引条件となっており、サプライヤーとして「選ばれる」ための必須要件として求められています。

欧米では、事業リスクを最小化することが小売事業者の標準的な動きとなっています。特に、小売業売上高世界ランキングのトップ 10 にあるような量販店は、国際的な認証規格 (例 : グローバル GAP 等) を取得しているサプライヤーや生産者からの仕入を優先しており、自らの販売チャンネルにおいてリスク・ヘッジできない農産物の取り扱いを排除し始めています。

グローバル GAP は 2011 年に改訂され、農産物の集出荷・選果場の管理範囲が審査の必須要件となり、農場から出荷までを網羅したサプライチェーン全体におけるマネジメントシステムを評価する事により食品安全リスクを包括的に担保するようになりました。

日本での認証取得実績は未だ少なく、規模だけでなく、農産物の安全管理も途上段階であり、中国、韓国、東南アジア諸国と比較しても、日本におけるこの分野での取り組みが期待されています。